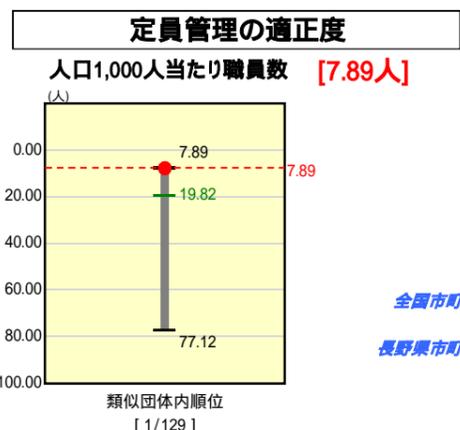
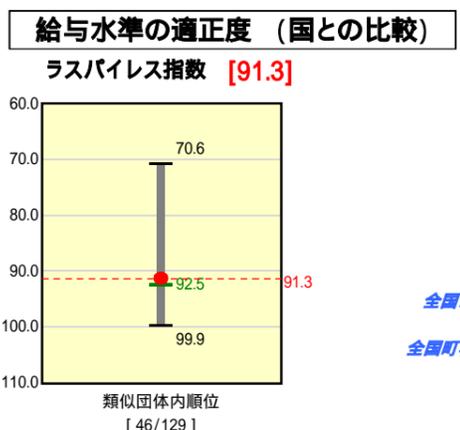
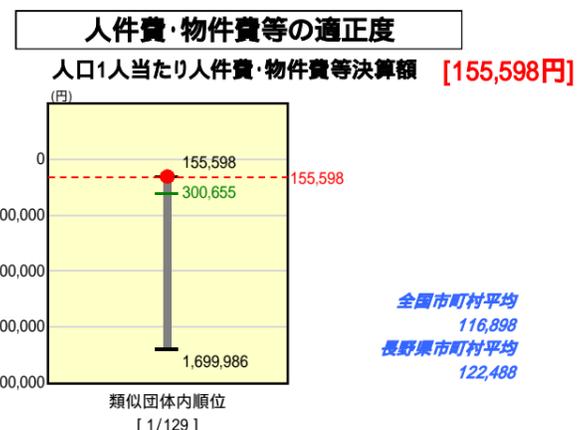
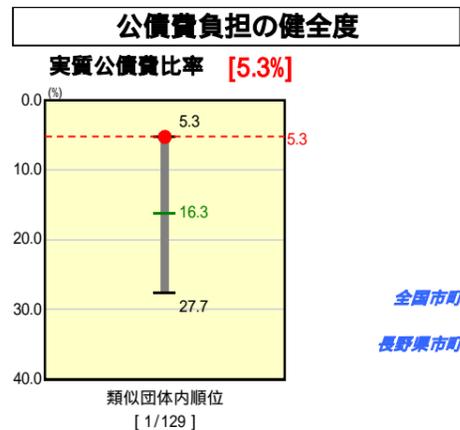
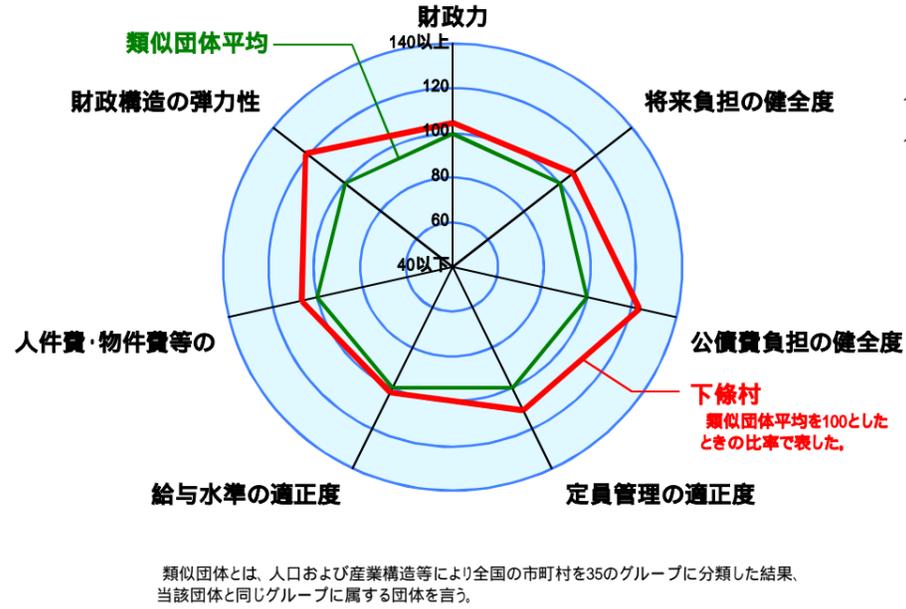
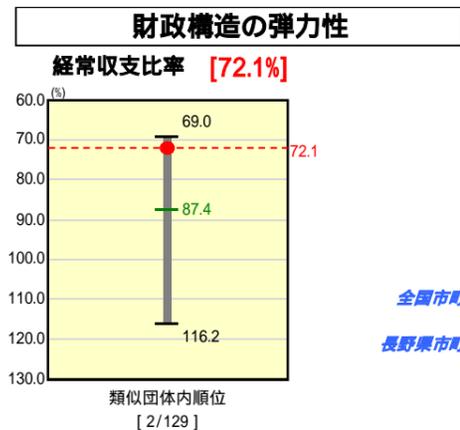
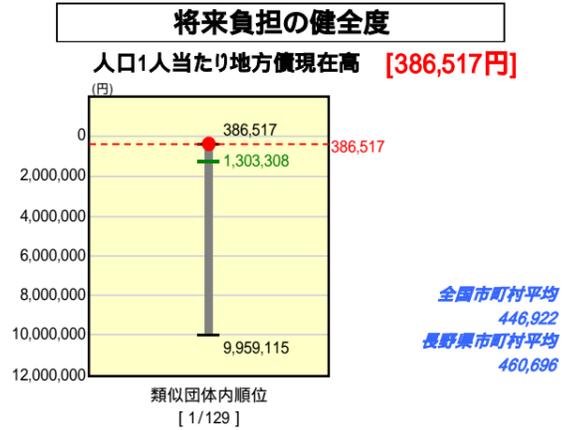
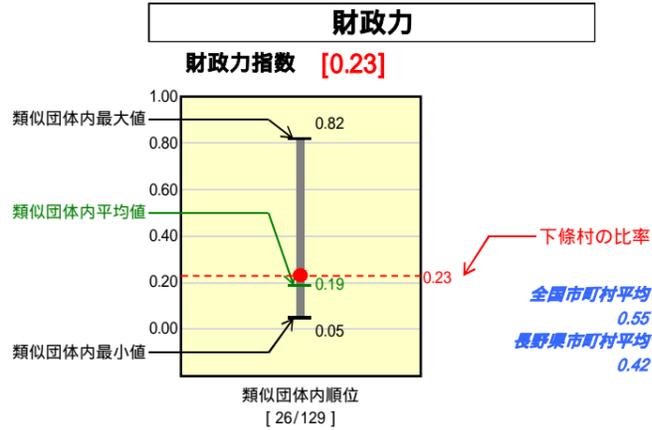


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

長野県 下條村

| | |
|------|-----------------------|
| 人口 | 4,184 人(H20.3.31現在) |
| 面積 | 37.66 km ² |
| 歳入総額 | 2,960,169 千円 |
| 歳出総額 | 2,704,185 千円 |



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力】
類似団体の平均を若干上回っているものの低い水準であり、今後も税収等の大きな増加は見込めないため、行財政の効率化に努め健全財政を維持する。

【財政構造の弾力性】【人件費・物件費等の適正度】
施設維持管理、事務事業の見直し、職員の適正配置を更に進めるとともに、アウトソーシングによる行政のスリム化を推進し、現水準の維持に努める。

【給与水準の適正度】
給与・手当の適正化をはかり、類似団体並みを維持する。

【将来負担の健全度】

【公債費負担の健全度】
大規模事業により上昇しつつあったが、平成15年より起債の抑制、繰上償還に努め実質公債費比率は5.3%と低い水準にある。H19～20年度にかけ大型事業に伴う起債を計画しているが、ここ数年は現水準の維持を見込んでいる。

【定員管理の適正度】
類似団体の最低職員数になっているが、更なる事務事業の見直し、職員の適正配置等により職員数適正化に勤める。